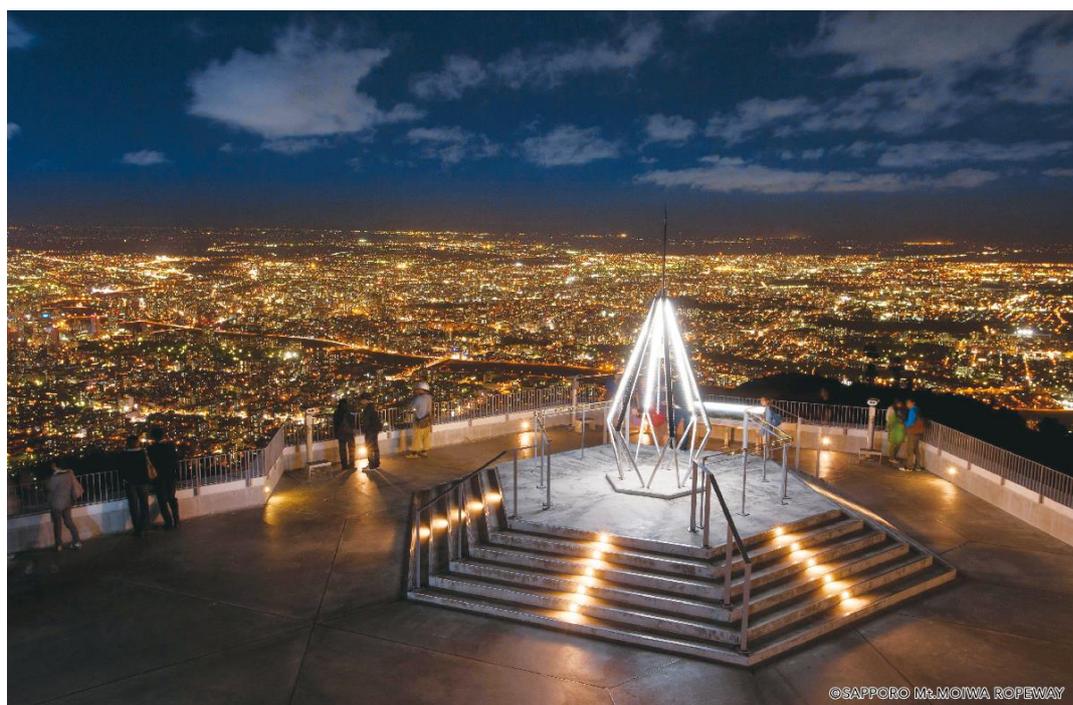


安全報告書 2021

(2020年度分)



株式会社 札幌振興公社

株式会社札幌振興公社 安全報告書 2021

大倉山ジャンプ競技場リフト(単線固定循環式特殊索道)
藻岩山ロープウェイ(複線交走式普通索道)

2020年度分

(自：2020年4月1日 至：2021年3月31日)

目次

ご利用の皆様へ		1
1	安全方針	1
2	安全目標・安全重点施策	2
3	事故等の発生状況	2～3
1	索道運転事故	2
2	インシデント	2
3	行政指導等	2
4	強風・雷・大雪・その他による運休の状況	2
4	輸送の安全確保のための取組み	3～8
1	安全統括会議及び現場巡回	3
2	安全教育	3～4
3	安全目標・安全重点施策への取組み	5～7
4	2021年度整備計画	7
5	安全管理体制	8
1	安全管理体制	8
2	ご感想・ご意見について	8

当社の索道事業に対しまして、日頃からご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

当社は、札幌を代表する観光施設であります大倉山ジャンプ競技場リフト並びに藻岩山ロープウェイの運営を行っており、2020年度につきましては、安全管理体制及び日常の保守点検の強化、計画的な機械設備の更新などに努めた結果、安全運行を実践することができました。

一方で、新型コロナウイルスの感染拡大により、索道施設の休業や営業時間の短縮を余儀なくされるなど、大きな苦難を強いられた年でもありました。

このような中でも引き続き感染対策の徹底をはじめ、ご利用されるすべてのお客さまの安全と安心に十分配慮しながら笑顔で楽しんでいただける施設づくりを目指して参ります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解をいただくために公表するものです。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

株式会社 札幌振興公社
代表取締役社長 板垣 昭彦

1

安全方針

当社は安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、輸送の安全を確保するための「安全方針」を次のように掲げ、社長以下全社員に周知・徹底し輸送の安全に取り組んでいます。

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いを行います。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

安全方針に基づき、お客様の事故防止や安全確保に最善を期するため掲げました、2020年度の安全目標・安全重点施策は次のとおりです。

《目標1》「運転事故」「インシデント」「労働災害」ゼロ

- (1) 「基本動作の徹底」による安全の確保
- (2) 整備実施体制の強化
- (3) 主要機器の計画的な整備の実施
- (4) 社内安全管理体制の強化

《目標2》「安全・安心・快適な輸送」のレベルアップ

- (1) 専門知識の習得などによる人材強化
- (2) 事故対応体制の明確化
- (3) 外国からのお客さまへの対応強化
- (4) コロナウィルス感染症対策の徹底

《目標3》「仕事の環境改善」「PDCA」による安全性向上と効率改善

- (1) 「5S活動」の推進による改善の継続
- (2) 「PDCAサイクル」による業務改善

1. 索道運転事故

2020年度、索道運転事故の発生はありませんでした。

2. インシデント（事故が発生するおそれがあると認められる事態）

2020年度、インシデントの発生はありませんでした。

3. 行政指導等

2020年度、行政指導はありませんでした。

4. 強風・雷・大雪・その他による運休の状況

(1) 大倉山ジャンプ競技場リフト

終日運休 5日間

一時運休 12日間

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策等による、営業自粛日数 28日間

(2) 藻岩山ロープウェイ

終日運休 11日間

一時運休 24日間

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策等による、営業自粛日数 76日間

1. 安全統括会議及び現場巡回

(1) 安全統括会議

安全統括会議は、社長をはじめとする本社の経営層部門と現場で索道を運行する大倉山事業部及び藻岩山事業部の実務担当責任者で構成し、毎月定例的に行っております。

この会議では、運行・整備状況の月次報告、教育・事故・トラブルに関する報告や対策を検証し、その後の状況や再発防止策を検討のうえ、改善策などを講じるほか、索道事業の安全を確保するための事業運営・設備投資・人材育成などに関する話し合いを行っております。



(2) 現場巡回

経営層による現場巡回を計画的に実施し、経営トップから安全に関わる方針などを訓示して周知するとともに、直接対話を行うことで意見・要望を収集しております。

また、安全統括会議終了後に施設内の「安全パトロール」を実施し、お客様と従業員の「安全・安心・快適」に関わる見直しを行いました。

2. 安全教育

(1) 定期教育

定期整備に伴う運休期間中に、安全管理規程・運転取扱細則・整備細則の再教育や緊急停止時に備えた救助訓練を実施し、教育終了後に効果測定の結果を踏まえて、課題や反省点などの確認を行いました。



大倉山ジャンプ競技場リフトの安全教育
(整備期間 令和2.4.14・同年.5.28)



藻岩山ロープウェイの安全教育
(整備期間 令和2.4.11)

(2) 索道技術向上研修

索道の保守点検レベルの向上を目的に、索道メーカーによる受索装置の分解整備作業の解説や実技研修を行いました。

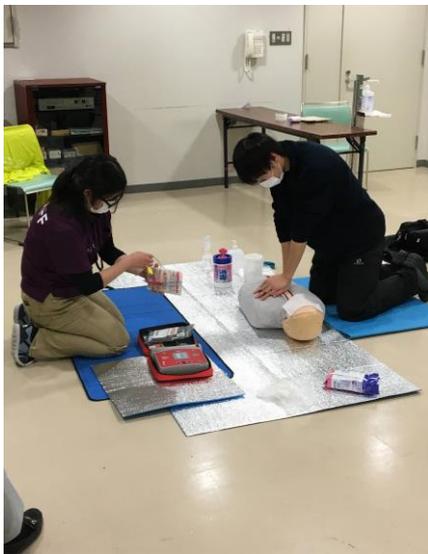


藻岩山ロープウェイ（受講日：令和3.3.30）

(3) 普通救命講習

(財)札幌市防災協会による普通救命講習（心肺蘇生法、AEDの使用止血法）を受講しました。

【大倉山ジャンプ競技場リフト】



【藻岩山ロープウェイ】



普通救命講習（実施日：令和2.4.2）

普通救命講習（実施日：令和2.12.14）

3. 安全目標・安全重点施策への取組み

安全目標1 「運転事故」「インシデント」「労働災害」ゼロ

(1) 「基本動作の徹底」による安全の確保

機械の故障を想定した救助・誘導訓練や研修などで基本動作の確認を行い、安全かつ迅速に対応できるように取組みました。

【大倉山ジャンプ競技場リフト】



リフトからの救助用具による救助訓練
(実施日：令和2.5.28)

【藻岩山ロープウェイ】



救助バスケットによる救助訓練
(実施日：令和2.5.29)

(2) 整備実施体制の強化

定期的にメーカーと情報交換を行い、保守点検作業のアドバイスなどを受け技術と知識の向上を図っております。また、故障に備えて予備品を確保し、機器の故障時にはメーカーと連携して根本的な原因を追究し、故障部品の交換など速やかに処置しました。

(3) 主要機器の計画的な整備の実施

大倉山リフトについては索受装置（受索輪側）の分解整備や脱索検出装置を更新し、藻岩山ロープウェイについては支索緊張索8本の交換や走行輪の交換を実施しました。

【大倉山ジャンプ競技場リフト】



受索輪の分解整備



脱索検出装置の更新

【藻岩山ロープウェイ】



支索緊張索の交換



走行輪の交換

(4) 社内安全管理体制の強化

社内全体にこれまで以上の安全意識、法令遵守、危機管理意識などのコンプライアンス体制を構築するため、本社及び現場社員を対象にコンプライアンス研修を実施し、コンプライアンス意識の向上と浸透を図りました。

また、安全管理体制・整備の実施体制・教育訓練の状況などに関する内部監査を実施し、監査結果に基づいた課題や問題点などを明らかにし、速やかに改善策を講じて安全管理体制を強化しました。

安全目標2 「安全・安心・快適な輸送」のレベルアップ

(1) 専門知識の習得などによる人材育成

講習会や研修への積極的な参加による専門知識の習得を推進するとともに、定期整備期間中に行う教育や研修後に、効果測定として試験を実施し、社員のスキルアップを図りました。

(2) 事故対応体制の明確化

「事故発生時対応マニュアル」の改定を行うとともに、最新の情報を反映した上で社員への周知を図り社内外への連絡体制および指揮命令体制を明確にするとともに、より実践に近い形での救助・誘導訓練の定着を図りました。

(3) 外国からのお客さまへの対応強化

大倉山ジャンプ競技場リフトでは、リニューアルを機に券売所へ設置したデジタルサイネージ型料金表および施設内の案内・誘導表示などを多言語化し、また、藻岩山ロープウェイにおいても、主要4か国語であったパンフレットを12か国に増やし、多様な外国からのお客さまへの対応を充実させました。

(4) コロナウィルス感染症対策の徹底

「新型コロナウイルス感染予防対策マニュアル」に基づき、ロープウェイの定員を半数程度に減らし、マスク着用・手洗い消毒の徹底、施設内の換気など、お客さまが安全・安心に利用できる施設の環境作りを行いました。

Combination ticket Chair Lift&Museum		Chair Lift(Round trip)	
Museum		Adult	Child
General	Chair Lift	(Highschool student and older)	(Junior highschool and younger)
General	¥600	Free	¥1,000
Groups 15 or more people	¥540	Free	¥800
65 years and over	¥450	Free	¥300
People with disabilities	Free	Free	¥500
Sapporo citizen	No discount		

券売所のデジタルサイネージ（多言語）



新型コロナウイルス感染症予防対策の掲示

安全目標3 「仕事の環境改善」「PDCA」による安全性向上と効率改善

(1) 「5S活動」の推進による改善の継続

「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰（しつけ）」を意識する活動を継続し、毎日の仕事をしやすい環境を整えることを目指しました。

当年度につきましては、コロナウィルス感染症対策に重点をおき、施設内の消毒などを徹底しました。

(2) 「PDCAサイクル」による業務改善

安全統括会議終了後に行う施設内の安全パトロールによる点検で、「PDCAサイクル」の手法により進め、安全に効率よく運行するための見直しなど、業務の改善に組みました。

4. 2021年度整備計画

2021年度における主要機器の計画的な整備・点検を下記のとおり計画しております。

【大倉山ジャンプ競技場リフト】

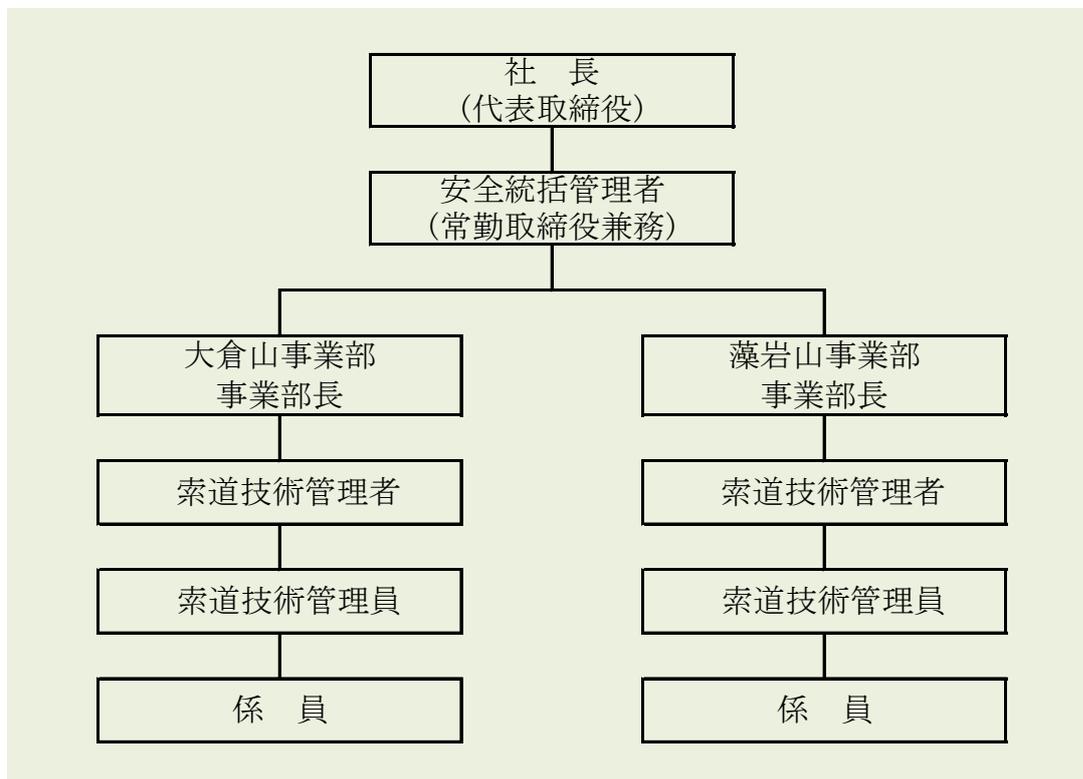
- (1) 緊張装置油圧ユニットの交換
- (2) 制動装置油圧ユニットの交換
- (3) 常用制動機の交換
- (4) 制御保安点検

【藻岩山ロープウェイ】

- (1) 指速発電機の交換
- (2) 接続装置の分解整備
- (3) 常用制動機の交換
- (4) 制御保安点検

1. 安全管理体制

当社の索道事業における安全確保に関する体制は、下図のとおり各責任者の責務を明確にしております。



社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
事業部長	安全統括管理者の指揮の下、索道事業の輸送の安全を確保するための事業運営、維持管理、人材の育成、関係法令等の遵守に関する業務を行うとともに、安全統括管理者を補佐する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上及び教育訓練等の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補佐する。

2. ご感想・ご意見について

安全報告書へのご感想、取り組みに対するご意見をお寄せ下さい。

大倉山事業部 TEL (011) 641-1972
(大倉山ジャンプ競技場リフト) FAX (011) 632-4901

HP <https://okurayama-jump.jp/>

藻岩山事業部 TEL (011) 561-8177
(藻岩山ロープウェイ) FAX (011) 561-8178

HP <https://mt-moiwa.jp/>